

平成 23 年 5 月 24 日

各位

会社名 アンジェス MG 株式会社
代表者 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問合せ先 経営企画部長 鈴木 文彦
電話番号 03-5730-2480

**NF- κ B/E2F キメラ・デコイオリゴの物質特許が成立(欧州)
ー複数の転写因子を阻害可能な新型デコイオリゴが対象ー**

当社は、欧州において NF- κ B/E2F キメラ・デコイオリゴの物質特許が成立し、5 月 11 日に特許公報(欧州特許第 1,803,811 号)が発行されましたことをお知らせします。

従来のデコイオリゴは、1種類の特異転写因子とのみ結合し、その転写因子がゲノム遺伝子上の結合部位に結合することを阻害することにより、その下流の遺伝子が発現するのを抑制し、最終的にはその遺伝子により制御される蛋白質の合成を阻害し、薬理作用を発揮するものです。

このコンセプトに基づき、NF- κ B、E2F、Ets-1、AP-1、STAT3、STAT-6、GATA-3 など、多くの転写因子に対するデコイオリゴが開発されてきました。

しかしながら実際の病態において、単一の転写因子のみが関与して発症・進展することは少なく、複数の転写因子が同時に関与するのが一般的であるため、迅速かつ確実な転写因子抑制を求めるには、従来の単一転写因子のデコイオリゴでは効果が十分ではないこともありました。

このような問題を改善するため、当社は複数の転写因子を同時に阻害可能な新型デコイオリゴの研究を進めて参りました。その成果の一つとして、炎症に関与する転写因子 NF- κ B および細胞増殖に関与する転写因子 E2F の二つの転写因子と結合可能なキメラ・デコイオリゴの開発に成功し、特許出願を行ったのが今回の対象であり、まず欧州で登録になったものです。

本キメラデコイを用いることにより、例えば、炎症と細胞増殖を同時にバランス良く抑制することが可能となり、PTCA 後の血管狭窄や、臓器移植後の血管吻合部狭窄などの血管病変に対し、より優れた薬効および安全性を期待することができます。

当社は、本発明を欧州に加え日米にも特許出願しており、ワールドワイドでの開発に際して特許網構築を図ってまいります。

なお本特許は 2025 年 10 月まで有効であり、当社の核酸医薬開発プロジェクトを強力にサポートするものであります。

当社は、NF- κ B を中心に、各種疾患に適した新型デコイについても順次追加特許出願しており、核酸医薬の臨床応用の拡大に向け努力してまいります。

なお、本件による本年度業績への影響はありません。

以上